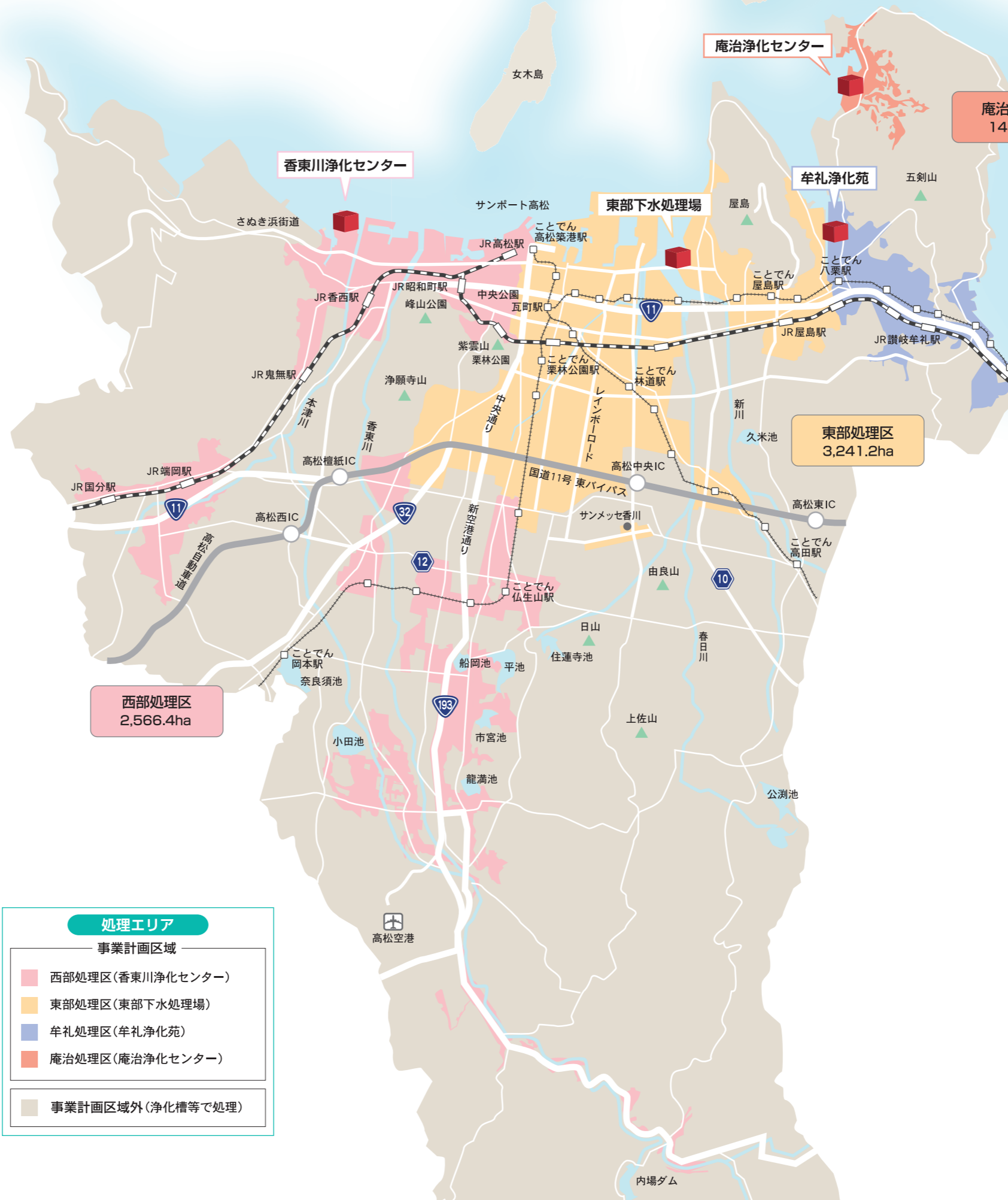


下水処理エリアマップ

それぞれの地域に合わせて処理施設を配置。効率的な下水処理を行っています。

人口や産業に応じて
適切な処理施設を整備しています。

高松市では、処理区を東部、西部、牟礼、庵治の4つに分け、効率的な下水処理を行っています。それぞれの処理区には、東部下水処理場(東部)、香東川浄化センター(西部)、牟礼浄化苑(牟礼)、庵治浄化センター(庵治)を整備。その処理区の汚水量に対応した処理能力を確保しています。また、流入する汚水の水質や処理方法、最終の放流先などを考慮し、地域の環境や特性に応じた処理施設づくりを行っています。



香東川浄化センター

西部処理区の汚水を処理する施設。高松市で一番新しい下水処理場です。



処理能力 47,600m³/日

東部下水処理場

東部処理区の汚水を処理する施設。高松市の中心となる下水処理場であり、施設内には多目的の広場や公園等も設けています。



処理能力 83,330m³/日

庵治浄化センター

庵治町の汚水を処理する施設。人口の少ない地域で利用する処理方法を採用しています。



処理能力 1,750m³/日

牟礼浄化苑

牟礼町の汚水を処理する施設。高松市東部のベッドタウンとして増加する人口に対応して建設されました。



処理能力 11,200m³/日